

海うさぎ

創刊号

白木半島地区

コミュニティ協議会事務局

周防大島町大字沖家室島481番地
(旧沖家室小学校)

TEL 0820-78-0604

平成29年5月15日発行

季刊 春 創刊号

「白木半島地区 コミュニティ協議会」設立

いよいよ始動！ 住民主体の地域づくり

白木半島地区コミュニティ協議会
会長 新山 玄雄

4月21日、「やまぐち元気生活圏」づくりの取組を進める白木半島地区コミュニティ協議会設立総会が、佐連会館で行われ、会員、来賓、関係者約60人が出席しました。設立総会では、規約や事業計画・収支予算が承認され、6自治会（伊崎・地家室・佐連・沖家室・大積・小積）の将来計画（夢プラン）作成への取組がスタートしました。

さて、私は今回の地域づくりの取組は、宮本常一先生が常常言っていた「地域はそこに住む人々が、自ら作つていかない限り、本当によくなることはない」というこの言葉のまさに実践ではないかと考えています。6自治会の人口は現在408人であり、人口減少は著しく、また、高齢化率も68%と極めて高い数値ではありますが、他の地域では見ることができない二ホンアワサンゴをはじめとする豊かな自然環境資源があり、またこの度、陸の部分も国立公園に編入されるなど、ここ白木半島は、これらを活用した地域づくりを進める潜在的な力を有しています。

白木半島6自治会の地域づくりの推進母体となる「白木半島地区コミュニティ協議会」が発足いたしました。私はこの度、会長の任を仰せつかり、役員、策定委員の皆様と共に精一杯取り組んでまいりますので、地域住民の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

この夢プランの作成は、14名からなる「地域づくり計画策定委員会」を中心に5月から協議・検討が行われます。先に実施しました住民アンケートの調査結果など、住民の皆様の想いや願いを形にしていきたいと思っていますので、より一層のご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

豊かな自然や文化・歴史を活かして、白木半島に「新しい人の流れ」をつくり、ここに住んでみたいと思う「移住者の希望」を全力で叶え、そして、誰もが「自然とともに心豊かに暮らす」という将来計画（夢プラン）を描いて実践できたならば、きっと素晴らしい白木半島地区になると思っています。

この度、白木半島地区コミュニティ協議会事務局を設立し、新規事業として、白木半島に「新しい人の流れ」をつくり、ここに住んでみたいと思う「移住者の希望」を全力で叶え、そして、誰もが「自然とともに心豊かに暮らす」という将来計画（夢プラン）を描いて実践できたならば、きっと素晴らしい白木半島地区になると思っています。



白木半島地区への 大いなる期待

周防大島町長 植木 巧



白木半島には、豊かな自然

や文化・歴史が数多くあります。

これらの地域資源を活用して、いかにして白木半島に多くの人々に来ていただき、これが実現できたならば、

白木半島の自然を愛する人々の移住にも繋がり、また、そ

こには新たな雇用の場も生まれてくるのではないかと考えています。

そのためには、大変難しいことではありますが、従来とは違う新しい発想での取組も必要になつてくるのではないかと思ひます。

白木半島6自治会の取組が、地域づくりの成功のモデルとなるよう、町としても最大限の支援を行うことにしており、本年度、協議会の運営や地域の生活環境整備等のための予算を新たに措置したところです。また、町職員も政策企画課担当職員の他、6名の職員を協議会事務局の一員として配置し、山口県の柳井地区支援チームと連携を図りながら、6自治会の地域づくりの取組をしっかりとサポートしてまいります。

山口県議会議長 柳居 傑学

私は、二ホンアワサンゴをはじめとする素晴らしい海中景観を有する「海域公園地区」の指定、そして、今回の陸域指定を機と捉えて、白木半島地区の振興を加速化していく必要があります。

この度、地域づくりの取組をリードする「白木半島地区コミュニティ協議会」が発足しましたことを大変うれしく思っています。

これから作成する夢プランには住民の皆さんのが熱き思いをしつかりと描いていただき、また、白木半島をPRする戦略的な広報も展開され、元気いっぱいの素晴らしい白木半島地区を創り上げていただきたいと思います。

周防大島町議会議長 荒川 政義

白木半島地区への 熱いまなざし

花の咲く夕日の里づくりの会
会長 木村 庄吉



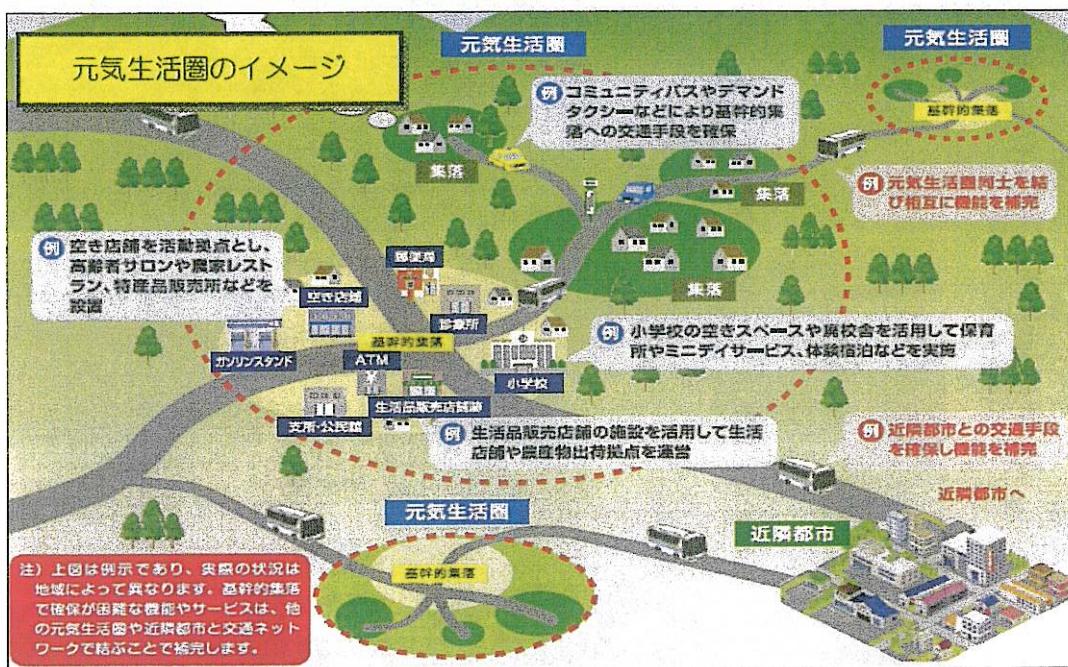
皆様、ご承知のとおり、周防大島町の喫緊の課題は、人口減少と超高齢化への対応です。町議会としてもこの課題に対処すべく、様々な検討を行つてゐるところですが、現状を打破する良案にたどり着けていないのが実状です。

こうした中、ここ白木半島6自治会で始まる住民発の地域づくりの取組に、町議会としても大変注目をしています。

新山会長の強いリーダーシップの下、白木半島地区の取組が成功し、町内の全域に地域づくりの取組を広げていくことができたらと考えていますので、どうぞよろしくお願いします。

今回、「白木半島地区コミュニティ協議会」が設立され、会員の一人として、少しでも力になれるよう協力していきたいと思っています。

◆白木半島地区コミュニティ協議会が取り組む「やまぐち元気生活圏づくり」ってなに?



住民の皆さんのが、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、単独の集落だけでは対応できないことは、集落の枠を超えて、小学校区等の広い範囲(元気生活圏)で取り組み、拠点化・ネットワーク化・産業の振興・人口の定住を進める取組です。

◆白木半島地区コミュニティ協議会会員 (H29. 4. 21 現在)

○自治会関係 (21名)

- ・新山 玄雄 (会長)
- ・松井 秀文 (副会長)
- ・岡本 洋治 (副会長)
- ・桑原 敏広 (理事)
- ・柳本 和夫 (理事)
- ・山本 敏彦 (理事)
- ・北川 公祥 (理事)
- ・竹田 英雄 (理事)
- ・刈山 幸雄 (理事)
- ・青木 長久 (監事)
- ・西村 隼人 (監事)
- ・叶井 和隆 (策定委員)
- ・浅原 豊 (策定委員)
- ・桑原 市蔵 (策定委員)
- ・山根 鉄雄 (策定委員)
- ・吉岡 修 (策定委員)
- ・川崎 克己 (策定委員)
- ・内田 健太郎 (策定委員)
- ・大久保 重範 (策定委員)
- ・濱良 美智 (策定委員)
- ・新山 青蓮 (策定委員)

○地区内各種団体 (2団体)

- ・なかよし会 (佐連)
- ・たのしい会 (沖家室)

○賛同者 (23名)

- ・長谷川 樹子 (事務局長、集落支援員)
- ・藤井 傳生 (地域住民賛同者)
- ・佐々木 智也 (地域住民賛同者)
- ・今西 一實 (NPO法人海業研究会理事長)
- ・藤本 正明 (NPO法人自然と釣りのネットワーク理事)
- ・木村 庄吉 (花の咲く夕日の里づくりの会会長)
- ・古屋 哲夫 (山口県東部エコツー理事)
- ・驛 忠雄 (公益財団法人日本釣振興会山口支部顧問)
- ・三村 政史 (山口県漁協東和町支店運営委員)
- ・松永 勉 (ブログ東和ケア会議主宰)
- ・山本 雅美 (白寿苑居宅介護支援事務所ケアマネージャー)
- ・山根 君子 (グループホームみかん畑ケアマネージャー)
- ・西村 直彦 (直農園代表)
- ・内田 博陽 (なぎさ水族館飼育員)
- ・浜田 勝美 (沖家室郵便局長)
- ・八木 正共 (東京かむろ会会长)
- ・宮本 富行 (関西かむろ会会长)
- ・山田 実 (広島かむろ会会长)
- ・西村 季芳 (宇部かむろ会会长)
- ・マリー・オオタニ (ハワイかむろ会会长)
- ・高木 泰伸 (学識経験者 周防大島文化交流センター学芸員)
- ・岩瀬 文人 (学識経験者 四国海と生き物研究室代表)
- ・新井 章吾 (学識経験者 (株) 海藻研究所所長)

◆平成29年度事業計画及び収支予算

平成29年度事業計画

1 夢プランの作成

○地域づくり計画策定委員会の開催

→5~11月 (毎月開催)

○アドバイザー安藤周治氏 講演会の開催

→5月25日(木)、佐連会館

○先進地視察の実施

→6月予定 (鵜飼げんきな会)

○夢プラン冊子の印刷・配付

→400部印刷、全世帯等に配付

2 夢プランの実践

○実践活動組織の設置

→住民の暮らしの支援等

○事業展開補助金による事業の実施

→住民の生活環境の改善等

平成29年度収支予算

[収入] 3,300千円

- ・運営補助金 300千円
- ・事業展開補助金 3,000千円

[支出] 3,300千円

- ・策定委員会開催費 40千円
- ・先進地視察費 120千円
- ・夢プラン印刷費 100千円
- ・事業展開事業費 3,000千円
- ・事務局関係費 40千円

◆白木半島6自治会の「夏」の行事・・・多くの住民の方が参加くださるといいですね！

伊崎

8/14 盆の短冊祭り

(盆踊りのやぐら4本と海岸に3本、色とりどりの短冊をあしらつた大竹を飾ります)

地家室

7/12 総鎮守中原神社の夏祭り

(海上安全の明神、土地を守る荒神、五穀の守護神の三神を祀る社で厳かに祝詞をあげます)

8/14 盆踊り

佐連

6月 コミュニティ誌「山王」第61号発行

8/14 ふるさと懇談会

8/15 盆踊り

8/16 精霊流し（朝、藁の船に塔婆をさし海へ流します）

大積・小積

5/21

厳島神社初の結婚式

(ご両人共に小積・大積の自然を愛され、新婦は昨年の十七夜祭に奉納演奏されました)

8/8

明神さんの十七夜祭

(厳島神社の管弦祭。海上交通の安全を守る宗像三女神の祭事で今年は鳥居もライトアップ！)

8/14 盆踊り

沖家室

8/14, 15 盆踊り（太鼓と口説き、日の丸の扇子2本で踊りあげます）

8/14 又は 15 漁協の魚販売（予定）

8/16 精霊流し（流灌頂（ながれかんじょう））

（盆の間に帰られた御靈をお送りします）

新しい風

◆サテライトオフィス開設

島の豊かな自然の中で農作物の栽培に取り組んでおられます。

一方、奥様の智子さんは、周防大島町で二例目となる「サテライトオフィス」の開設に向け、準備を進められています。（株）モノサスの取締役副社長として、古民家を改修予定の事務所では、ウエブサイト運用業務等の事業が行われます。

◆空き家改修で地域交流



広島市の社会福祉法人「順源会」が、職員やその家族が利用する宿泊施設として、地家室の泉福寺下にある空き家を大規模に改修され、4月30日にお披露目会が盛大に催されました。

以前は、夏になると佐連会館を利用して、佐連自治会の住民との交流は、10年及びます。佐連の西村隼人さんは「順源会の山崎理事長は、地元を大事にする方な

ので、これから地家室で始まる地域交流が楽しみです。」と話されました。



沖家室大橋の欄干にとまる数羽のカモメに迎えられ、4月に「白木半島地区コミュニティ協議会」事務局（旧沖家室小学校）の仕事が始まりました。



まずは広報紙の作成です。白木半島の海は西風が吹くと白波が立ち、白うさぎが海の上をぴょんぴょんと跳んでいるかのような景色になります。この白うさぎが続けるなければならないという想いを込めて、広報紙の名称は「海うさぎ」としました。海うさぎの次回発行は8月夏号を予定しています。

私は事務局に常駐していますので、地域づくりに関する様々なご意見・ご提言をお聞かせください。お待ちして

（事務局・樹）